

# 請願

**■身近な庁舎を維持し、住民サービスの充実を求める請願**

## 質疑

2千565筆の署名について、どのように紹介議員として評価しているのか。

職員が減ったこと、課がなくなることによるサービスへの影響は。サービスの低下は具体的に何があると考えているのか。

「住民サービスの充実を図る」とは、どのようなサービスをどのよう図るのか。

## 答弁

昨年日本共産党が行ったアンケートで、庁舎の統合については、4庁舎を維持するが75%、総合支所のサービスについては、各庁舎の総合支所で今までの住民サービスを行うが67%、職員体制を強化し、総合支所での住民サービスを充実するというのが14%あった。今回の署名は、このアン

ケートの結果を裏づけるものになっていると思う。

この5年間で地域振興課がなくなり、職員が半分になった。本課を集約する前提に立てば、当然すべての総合支所で今以上に総合的なサービスができるよう充実していく必要がある。

# 同意

## ■教育委員会委員

中野良一郎 氏（高畑町）

の任命に同意しました。

# 推薦

## ■人権擁護委員の候補者

加藤菊雄 氏（上東川町）

水谷三三子 氏（葛木町）

原田健三 氏（赤目町）

を適任としました。

# 討論

**（仮称）愛西市学校給食センター整備・運営事業契約の締結**

## 賛成討論

苦しい財政状況の中、より安全で安心な給食を提供するため、少しでも負担の少ない運営方法や整備手法を採用した結果だと理解する。今回の契約は、PFI手法を利用した17年間の長期契約や総合評価一般競争入札などなじみはないが、契約の目的や方法に問題はない。

## 反対討論

どんな説明がされようとも、今回の議案は、最良の選択ではなく、経済性を優先した選択であることは市側も認めている。学校給食が他の課題も解決できる素材であるならば、経済性においても、決して自校式が劣るものではない。また、15年間も契約内容

が基本的には変えられないPFI方式は、大変問題がある。総合評価一般競争入札は、入札価格が高くても、提案内容が良いものが優位に立つ結果となる欠点がある。



**身近な庁舎を維持し、住民サービスの充実を求める請願**

## 賛成討論

2千656名の市民から提出された本請願は、「佐織・立田・八開の三つの庁舎を維持し、各庁舎での総合的な住民サービスを続けてほしい」という市民の願いの強さを反映している。

庁舎と住民サービスについて、合併時の説明を大きく変える見直しは、十分な説明と住民投票など意思の確認を行ない、住民合意のもとで進めることが大切。本請願は、市が

一方的にすすめようとしている庁舎や住民サービスの削減に、見直しを求めるものだ。

## 反対討論

合併協定により、市民サービスへの影響などを考慮し、総合支所・分庁方式を採用したが、庁舎の老朽化による維持管理費の増加、耐震補強や大規模改修の問題、行政運営の非効率など多くの課題に対応しなければならぬ状況が生じた。市は、庁舎検討委員会の答申を尊重し、庁舎整備の基本計画の策定に着手したところで、現時点で具体的な内容が示されているわけではない。